

防災スピーカーを使いながら地域の防災に携わる人たちに

インタビューしました！

地域の繋がりを大切に、防災力を高めたい



大藪町自主防災会

会長 おもと 尾本 章 さん（右）
前会長 きたむら 北村 俊恵 さん（左）

大藪町自主防災会について教えてください

2017 年度に立ち上げた地域の自主防災組織です。大藪町を北・中・南の3つのブロックに分けて防災訓練などの活動をしています。大藪町自治会は180 世帯ほどありますが、100 人程度が会員となっています。消防団の経験者が10 人程度と多いことが特徴です。

皆さんに聞き取りやすいように、天候によって読み上げ速度を調整しています



エフエムひこねコミュニティ放送株式会社
みやした 宮下 アナウンサー

情報発信者の立場として、聞いている人に伝えたいことはありますか

市民の皆さんには、何かチャイムや音声聞こえたら、「あれ？何か緊急の内容が鳴っているな」と自覚を持って耳を傾けていただき、しっかり最後まで聞いた上で、緊急安全確保や避難行動につなげてほしいです。

防災スピーカーを使用した時のことを聞かせてください

2019 年9 月に大藪町の防災訓練を行いました。エフエムひこねの協力を得て、金城小学校に設置しているスピーカーから、「午前8：30 に大きな地震が発生しました。ただちに金城小学校へ避難してください」という内容を流してもらいました。

風向きなどによって聞こえなかった人もいましたが、金城学区全体へ周知が図れ、訓練には600 人程度の市民が参加されました。

地域の防災に対する思いを聞かせてください

大藪町は約90 年前に大火事、約120 年前には大水害があり、防災に対する意識が高い町です。自主防災組織の平時の活動には、見まわり情報班による夜回りがあり、これは365 日毎日欠かさず行っています。また、住民の助け合い連絡網や安否確認リスト、避難行動の支援者リストを整備して、災害に備えています。

実際の災害発生時には、住民同士が助け合う共助の精神が大切で、日頃からの備えが大切だと考えています。電話が繋がらないことも想定されるため、住民同士が直接口頭で情報を伝えることの大切さも感じています。風向きなどによって、防災スピーカーによる放送も聞き取りづらい場合もありますが、そのような時には、「聞こえた人が聞こえなかった人に口頭で伝える」など、地域のつながりを大切に、住民同士が助け合えるようにしたいですし、そのための防災力をこれからも高めていきたいです。

防災スピーカーの緊急情報の原稿を読むときに工夫していることは何ですか

防災スピーカーによる放送の音声は、屋外ということもあり、風が強いときには、間を空けて読まないと、前後の言葉が被って放送されてしまい、上手く聞き取れなくなるため、その時の天候を見て、読み上げ速度を調整しています。

琵琶湖からの風の影響を受けている地域かそうでない地域かによって音声の伝わり方に差が生じるため、風が強い地域でも聞こえるように、ゆっくり読むように工夫しています。

また、最初の文字をしっかり読むようにし、最後の文字の語尾を読み切るように心がけています。他にも、音声は高めの音程で読み上げたほうが伝わりやすいため、少し高めの声で読むように工夫しています。

情報の即時性が
メリットです！



防災スピーカーのメリット

市が、緊急情報の伝達手段として活用している災害時緊急通報システム、メール配信システム、各種SNS やホームページなどに比べ、防災スピーカーは即時性に優れています。

また、パソコンやスマホを持っていない人は情報を得ることが難しいなどの課題がありますが、防災スピーカーの音声による放送は、情報の受け手を限定せず、より多くの人に瞬時に緊急情報を伝えることができます。



防災スピーカーについての4つのギモン

Q. 防災スピーカーの放送が聞こえる範囲は？

スピーカーは高さ約14 メートルの支柱上部に設置し、放送が聞こえる範囲の目安は設置場所から半径250 ～500 メートルのエリア内です（範囲はスピーカーの出力や形状、地形、建物の構造などにより、変動します）。

Q. 防災スピーカーの形状には種類があるの？

スピーカーにはラッパ型とたて型の2種類があります。

2種類は設置する地域の状況に応じて、より聞こえやすいように使い分けています。

右の写真のように、1基の防災スピーカーでも、方向によって型が違う場合があります。（正面がたて型、右がラッパ型）



Q. 未設置エリアはどうなるの？

順次配置を進める予定です。設置場所については、すでに設置しているスピーカーの位置や地域の状況などを考慮して選定します。

Q. 放送を聞き逃してしまったら？

大雨や強風などの天候状況や、建築物の立地状況、住宅の機密性の高さから、場所によっては防災スピーカーの放送が聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらい場合は、TEL 050-5533-8171 に電話すると内容を聞くことができます（通話料は利用者負担）。また、同様の内容を市民向けメールで配信していますので、登録をお願いします。

メール配信システムの登録は、
QRコードから



最後に…

災害時に最も大切なことは、放送が聞こえてからどのように避難行動などにつなげていくかです。再度お手持ちの市民防災マニュアルで災害リスクや避難場所などを確認してください。

防災スピーカーは防災情報を取得する一つの手段であり、市では他にもさまざまな手段で情報発信を行っています。防災スピーカーからの放送が聞こえづらい地域もありますので、できるだけ多くの手段で市からの情報を受け取れるよう日頃から準備して、積極的に情報収集に努めてください。

災害情報の入手手段など、詳しくは折り込みのチラシをご参照ください。

日頃から情報収集に
努めて災害に備えま
しょう！



▲市民防災マニュアル

